

令和元年6月市議会 教育厚生委員会資料

第70号議案 令和元年度長崎市一般会計補正予算（第2号）

目次	ページ
1 10款1項5目 国際理解教育推進費	1
2 10款2項1目 運営費（小学校） 10款2項1目 管理費（小学校）	2 ~ 3
3 10款2項4目 【補助】小学校整備事業費 大規模改造 10款3項4目 【補助】中学校整備事業費 大規模改造	4 ~ 8
4 10款2項4目 【単独】小学校整備事業費 大規模改造 10款3項4目 【単独】中学校整備事業費 大規模改造	9 ~ 12
5 10款2項4目 【単独】小学校整備事業費 諸工事	13 ~ 14
6 小島小校舎等改築に係るPFI導入可能性調査結果と 本市の検討結果	15 ~ 16
7 10款2項4目 【単独】小学校整備事業費 小島小校舎等改築	17 ~ 20
8 【継続費】 小学校整備事業 小島小校舎等改築	21 ~ 22
9 10款2項4目 【単独】小学校整備事業費 西浦上小校舎等改築	23 ~ 25
10 【継続費】 小学校整備事業 西浦上小校舎等改築	26 ~ 27
11 10款3項4目 【単独】中学校整備事業費 諸工事	28 ~ 30
12 10款6項8目 【単独】図書館施設整備事業費 香焼図書館	31 ~ 33
13 10款6項10目 【単独】恐竜博物館整備事業費 恐竜博物館建設	34 ~ 35
14 【継続費】 恐竜博物館整備事業 恐竜博物館建設	36 ~ 37
15 10款8項1目 【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館施設整備	38 ~ 44
16 10款8項1目 【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館設備整備	45

教育委員会

令和元年6月

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
52~53	10 教育費	1 教育総務費	5 教育諸費	1-1	国際理解教育推進費	千円 170

1 概 要

「未来の担い手」を育成すべく、市内全域の中学生に、国際的視野に立って地元を活性化させるために必要な感性や行動力を養う場として「あじさい グローバルリーダー研修会」を開催するものである。

2 事業内容

あじさい グローバルリーダー研修会の開催に要する経費 (170千円)

〈経費の内訳〉交通費(船車券購入費)160千円

内訳: 交通費①学校~会場 121千円(学校~会場間の往復×2日)

交通費②1日乗車券 39千円(路面電車@500円×77人)

講師謝礼金 10千円

(1)期間 2日間(8月)

(2)場所 市民会館、長崎市内観光地

(3)内容

ア グローバルな視野の育成(世界で活躍する地域人材[日本人]の講話を聞く)

イ グローカルな視野の育成(長崎の町を散策しながら外国人に案内・紹介する)

ウ 授業体験と研修のまとめ(道案内や名所の説明の仕方を学び、体験をまとめる)

(4)対象 77人

*市立中学校39校から2名ずつ。

*1・2年生各1名ずつを想定。

*一部の希望者ではなく、長崎市全域の中学生を対象とすること。

*過去7年間の「あじさい English Day(小学生対象)」の参加平均人数(73人)と同等人数もしくはそれ以上であること、加えて、会場となる市民会館の収容人数を鑑みた人数設定。

(5)事業展開 3年間

(6)事業目標 ○体験報告会を学校内外で開催する。

(学校外の例: あじさい English Speech Contest)

○各校で掲示による広報をする。

○活動中の会話をまとめた「会話ヒント集」を作成する。3年間で内容の充実を図る。

○英検3級取得を啓発する。(目標値:「取得した生徒+取得相当とされる生徒の割合」を3年間で55%にする。)

平成30年度50.9%(実績)→令和元年度53.0%→令和2年度55.0%

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金※1	地方債	その他※2	一般財源
当初予算	千円 203,664	千円 —	千円 277	千円 —	千円 18,637	千円 184,750
補正額	千円 170	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 170
補正後の額	千円 203,834	千円 —	千円 277	千円 —	千円 18,637	千円 184,920

※1 学力向上のための非常勤講師等配置支援事業補助金

※2 宿舎借上料負担金等

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
52～53	10 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	1-1	運営費	千円 1,620
52～53	10 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	1-2	管理費	1,037

1 概要

運営費は、学校運営に必要な消耗器材、備品等の整備を行うものであり、管理費は、学校の光熱水費、電話使用料、廃棄物処理委託料など維持管理に必要な経費である。

令和2年4月1日に川平小学校を西浦上小学校へ統合することに伴い、川平小学校が閉校となるため、記念式典の開催や備品等の運搬にかかる経費を新たに予算計上するもの。

2 事業内容

(1) 経費の内訳

区分		補正予算額(千円)	内容
運営費	式典開催費	135	看板・生花代等
	閉校記念誌作成費	1,485	来賓等関係者配付用(900部)
小計		1,620	
管理費	郵送料	137	開催案内・礼状
	備品等運搬費	900	
小計		1,037	
計		2,657	

3 財源内訳

(1) 運営費

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※1	一般財源
補正前の額	千円 291,383	千円 -	千円 -	千円 -	千円 75	千円 291,308
補正額	千円 1,620	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 1,620
補正後の額	千円 293,003	千円 -	千円 -	千円 -	千円 75	千円 292,928

※1 保険料個人負担金

(2)管理費

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
補正前の額	千円 555,153	千円 -	千円 -	千円 -	千円 11,405	千円 543,748
補 正 額	千円 1,037	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 1,037
補正後の額	千円 556,190	千円 -	千円 -	千円 -	千円 11,405	千円 544,785

※2 教委施設課電気使用料、教育施設太陽光発電売払収入など

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
52~53	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	1-1	【補助】小学校整備事業費 大規模改造	千円 426,700
54~55	10 教育費	3 中学校費	4 学校建設費	1-1	【補助】中学校整備事業費 大規模改造	千円 148,800
—					合計	千円 575,500

1 概 要

調査の結果、アスベストが検出された学校については、適切な対応を講じた上で外壁等を改修し、学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置を行うことにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

なお、本事業は、平成29年5月30日付環境省通知及び平成30年3月14日付長崎県土木部建築課通知により、建築物の改修・解体時の石綿含有仕上塗材の除去等作業に係る手順や取り扱いが示され実施した、建築物の内外装仕上げに使用される建築用仕上塗材の石綿含有調査の完了に伴い、施工するものである。

2 事業内容

学校区分	学校名	事業費	事業内容
小学校	日見小学校（※）	68,000千円	校舎の外壁改修
	三重小学校	57,900千円	
	三原小学校	63,800千円	
	愛宕小学校（※）	48,500千円	
	深堀小学校（※）	94,400千円	
	北陽小学校（※）	93,000千円	
	事務費	1,100千円	消耗品、印刷製本費等
	計	426,700千円	—

中学校	三重中学校 (※)	148,500千円	校舎の外壁改修
	事務費	300千円	消耗品、印刷製本費等
	計	148,800千円	—
小中合計		575,500千円	—

(※) の学校については、アスベスト除去費用を含む。

3 財源内訳

事業費		財源内訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
小学校	千円 426,700	千円 117,468	千円 —	千円 231,600	千円 —	千円 77,632
中学校	千円 148,800	千円 35,487	千円 —	千円 84,900	千円 —	千円 28,413
合計	千円 575,500	千円 152,955	千円 —	千円 316,500	千円 —	千円 106,045

※1 学校施設環境改善交付金 (補助率: 1/3)

※2 学校教育施設等整備事業債 (充当率 75%)

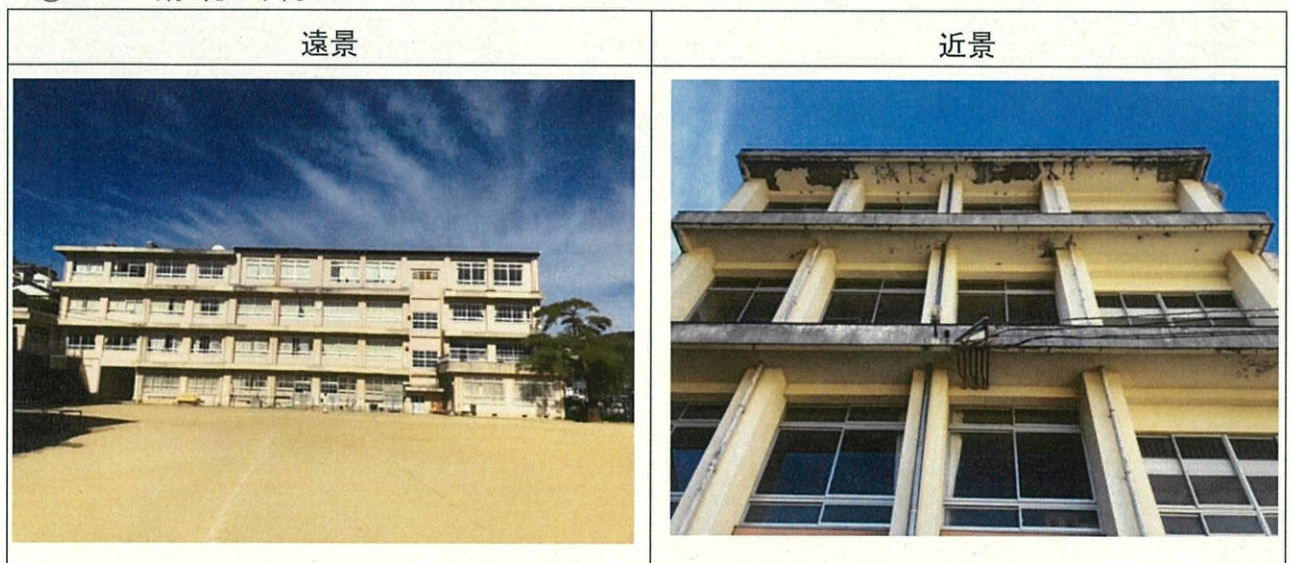
4 その他(現況写真等)

(1) 日見小学校校舎外壁改修工事

① 建築年月: 昭和 46 年 3 月 (49 年経過)

② 現 況: 老朽化により外壁及び庇に亀裂が生じている。

③ 工 期: 約 6 ヶ月



(2) 三重小学校校舎外壁改修工事

① 建築年月: 昭和 44 年 3 月 (51 年経過)

② 現 況: 老朽化により外壁及び庇に亀裂が生じている。

③ 工 期: 約 5 ヶ月

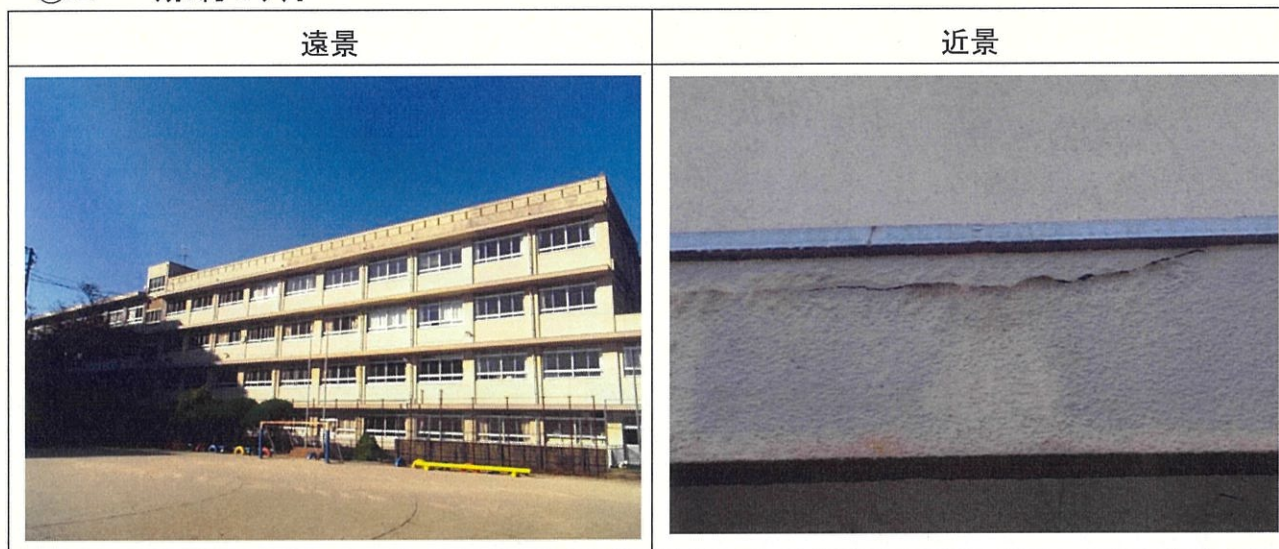


(3) 三原小学校校舎外壁改修工事

① 建築年月: 昭和 45 年 3 月 (50 年経過)

② 現 況: 老朽化により外壁に亀裂が生じている。

③ 工 期: 約 5 ヶ月

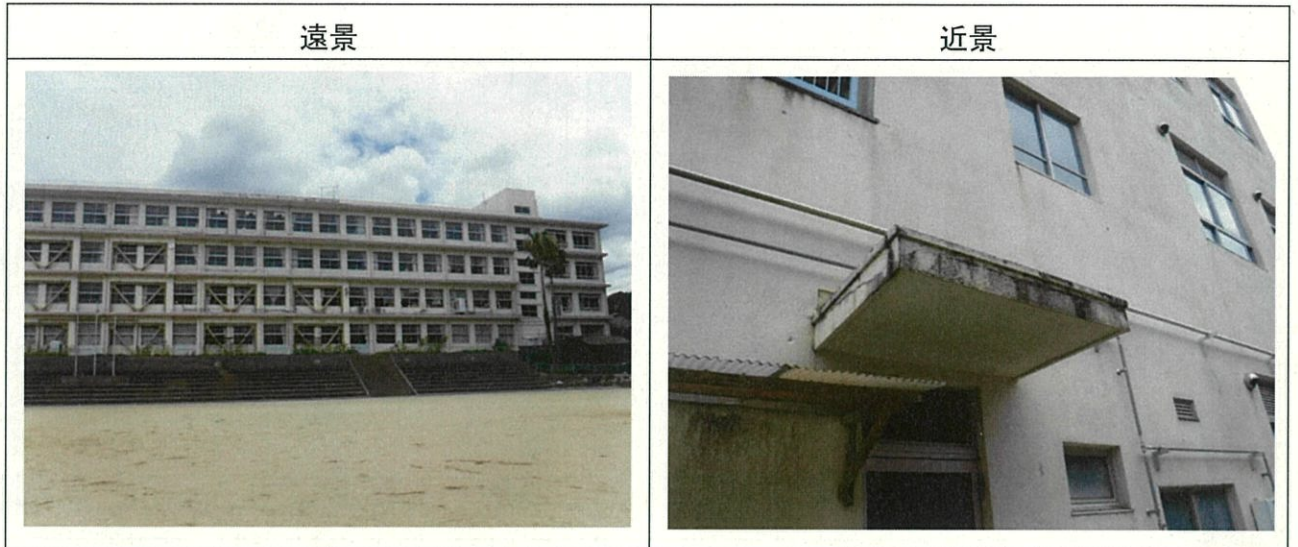


(4) 愛宕小学校校舎外壁改修工事

① 建築年月: 昭和 44 年 1 月 (51 年経過)

② 現 況: 老朽化により外壁及び庇に亀裂が生じている。

③ 工 期: 約 6 ヶ月



(5) 深堀小学校校舎外壁改修工事

① 建築年月: 昭和 42 年 1 月 (53 年経過)

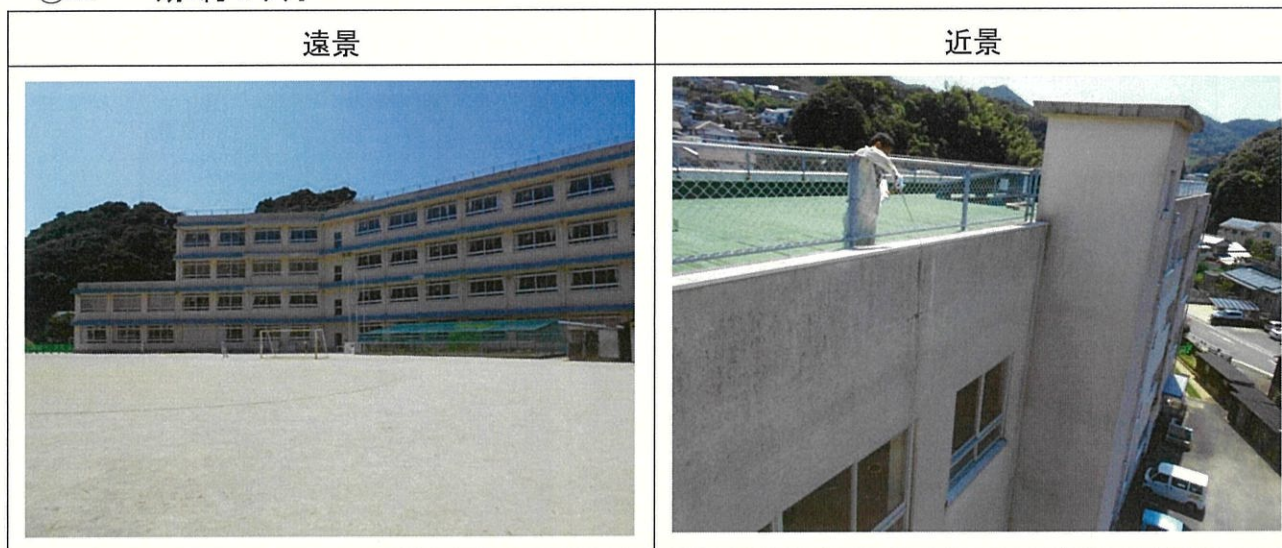
② 現 況: 老朽化により外壁に亀裂が生じている。

③ 工 期: 約 6 ヶ月



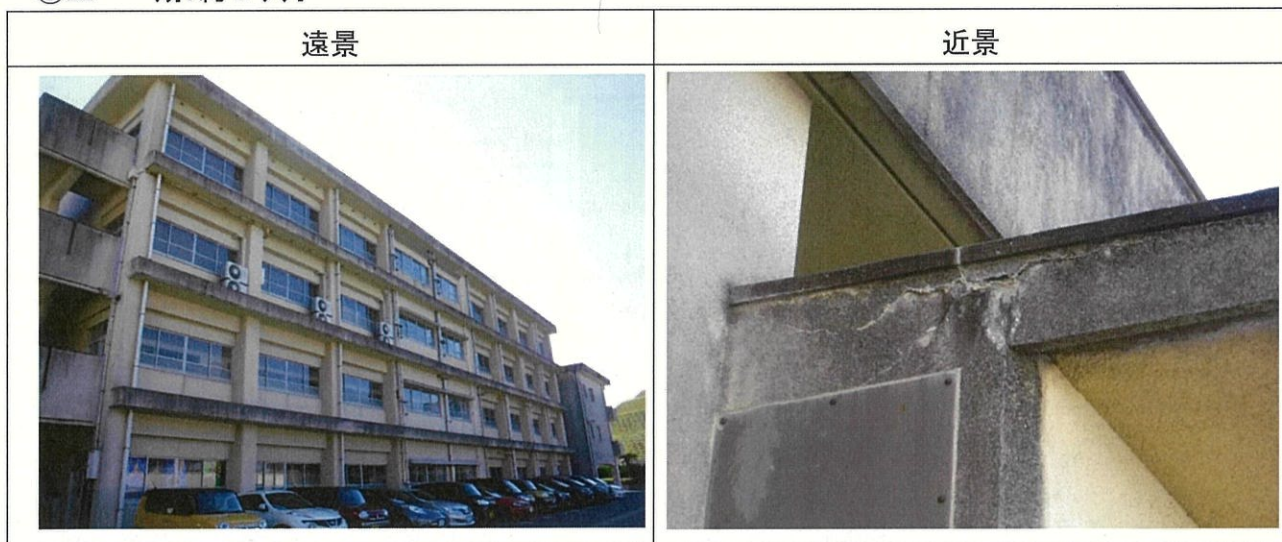
(6)北陽小学校校舎外壁改修工事

- ①建築年月:昭和 45 年 3 月(50 年経過)
- ②現 況:老朽化により外壁に亀裂が生じている。
- ③工 期:約 6 ヶ月



(7)三重中学校校舎外壁改修工事

- ①建築年月:昭和 58 年 3 月(37 年経過)
- ②現 況:老朽化により外壁・庇に亀裂が生じている。
- ③工 期:約 8 ヶ月



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
52～53	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-3	【単独】小学校整備事業費 大規模改造	千円 98,800
54～55	10 教育費	3 中学校費	4 学校建設費	2-1	【単独】中学校整備事業費 大規模改造	千円 32,000
—					合計	千円 130,800

1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置などにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

なお、本事業の屋上防水改修は補助事業で行う外壁改修工事に伴い行うものである。

2 事業内容

学校区分	学校名	事業費	事業内容
小学校	日見小学校	28,000千円	校舎の屋上防水改修
	三重小学校	19,500千円	
	三原小学校	23,300千円	
	深堀小学校	28,000千円	
	計	98,800千円	—
中学校	三重中学校	32,000千円	校舎の屋上防水改修
	計	32,000千円	—
小中合計		130,800千円	—

3 財源内訳

事業費		財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
小学校	千円 98,800	千円 —	千円 —	千円 74,100	千円 —	千円 24,700
中学校	千円 32,000	千円 —	千円 —	千円 24,000	千円 —	千円 8,000
合計	千円 130,800	千円 —	千円 —	千円 98,100	千円 —	千円 32,700

※ 学校教育施設等整備事業債（充当率：75%）

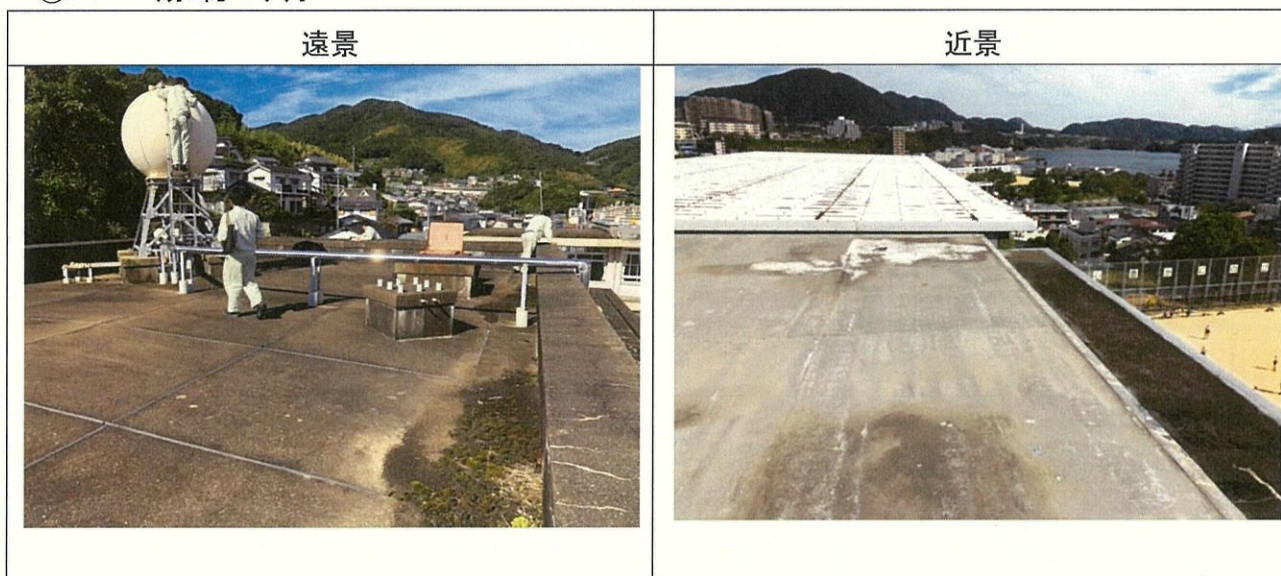
4 その他(現況写真等)

(1) 日見小学校校舎屋上防水改修工事

① 建築年月：昭和46年3月(49年経過)

② 現況：屋根の腐食により、雨漏りが発生している。

③ 工期：約4ヶ月

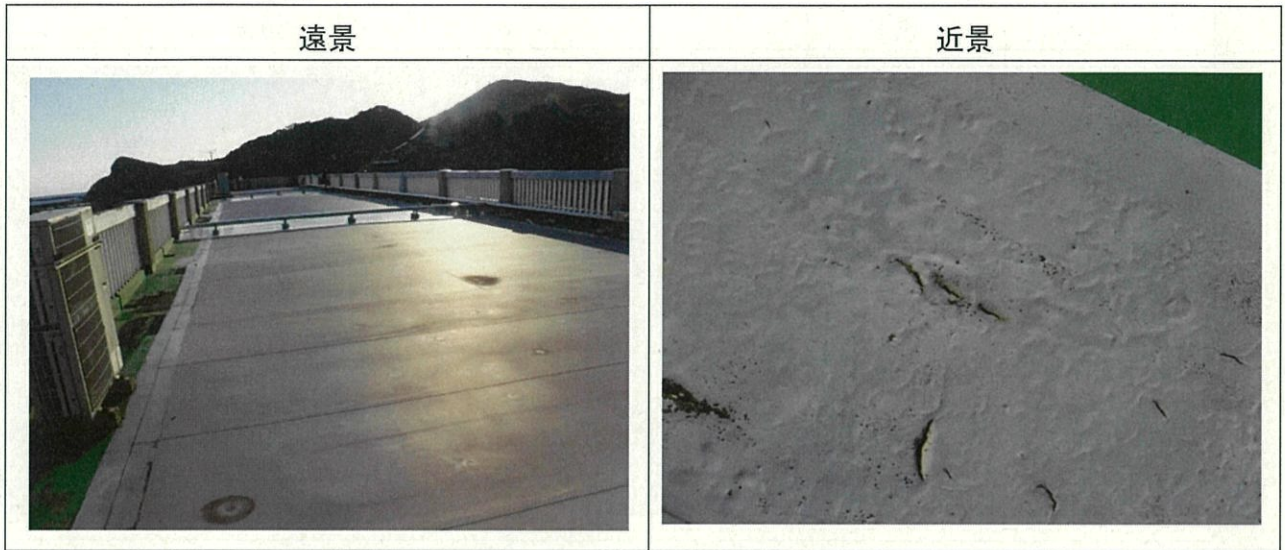


(2) 三重小学校校舎屋上防水改修工事

① 建築年月: 昭和 44 年 3 月 (51 年経過)

② 現 況: 老朽化により屋上の防水層に破損等が見られる。

③ 工 期: 約 4 ヶ月

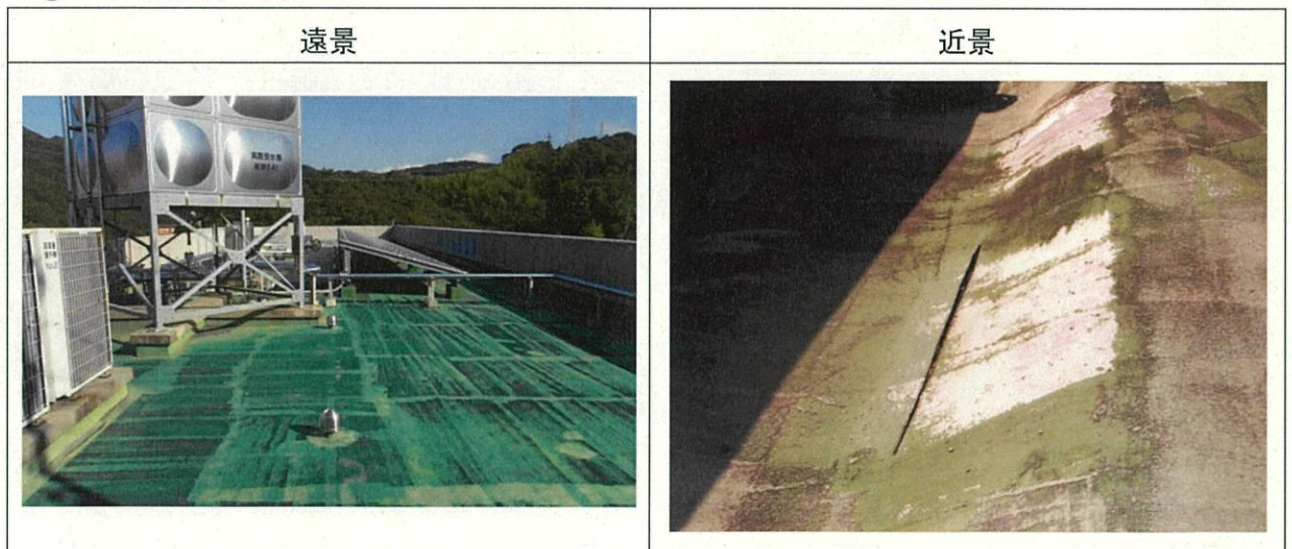


(3) 三原小学校校舎屋上防水改修工事

① 建築年月: 昭和 45 年 3 月 (50 年経過)

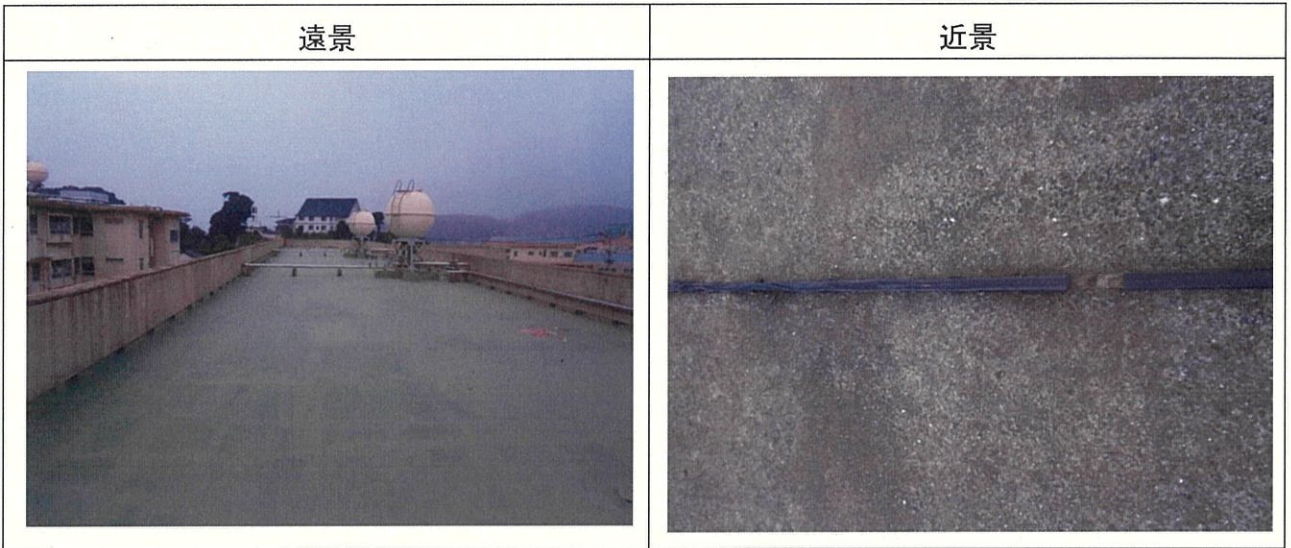
② 現 況: 老朽化により屋上の防水層に破損等が見られる。

③ 工 期: 約 4 ヶ月



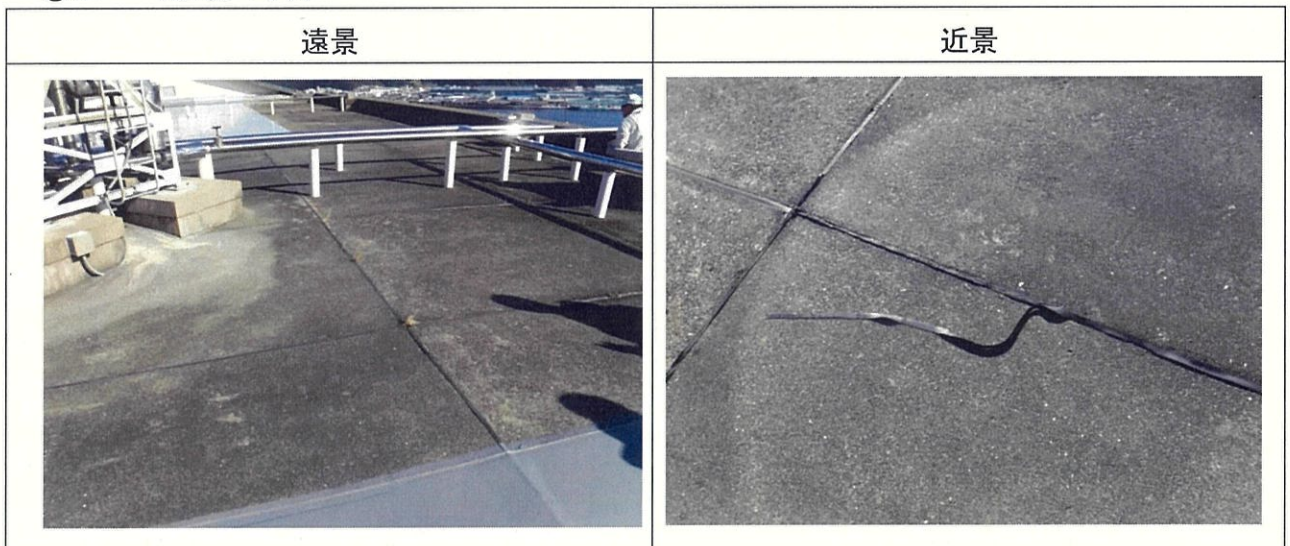
(4) 深堀小学校校舎屋上防水改修工事

- ① 建築年月: 昭和 42 年 1 月 (53 年経過)
- ② 現 況: 老朽化により屋上面に破損等が見られる。
- ③ 工 期: 約 4 ヶ月



(5) 三重中学校校舎屋上防水改修工事

- ① 建築年月: 昭和 58 年 3 月 (37 年経過)
- ② 現 況: 老朽化により屋上面に破損等が見られる。
- ③ 工 期: 約 4 ヶ月



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
52～53	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-4	【単独】小学校整備事業費 諸工事	千円 18,800

1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置などにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

なお、本事業の屋上防水改修は補助事業で行う外壁改修工事に伴い行うものである。

2 事業内容

学校区分	学校名	事業費	事業内容
小学校	北陽小学校	18,800千円	校舎の屋上防水改修
合計		18,800千円	

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 18,800	千円 —	千円 —	千円 14,100	千円 —	千円 4,700

※ 学校教育施設等整備事業債（充当率:75%）

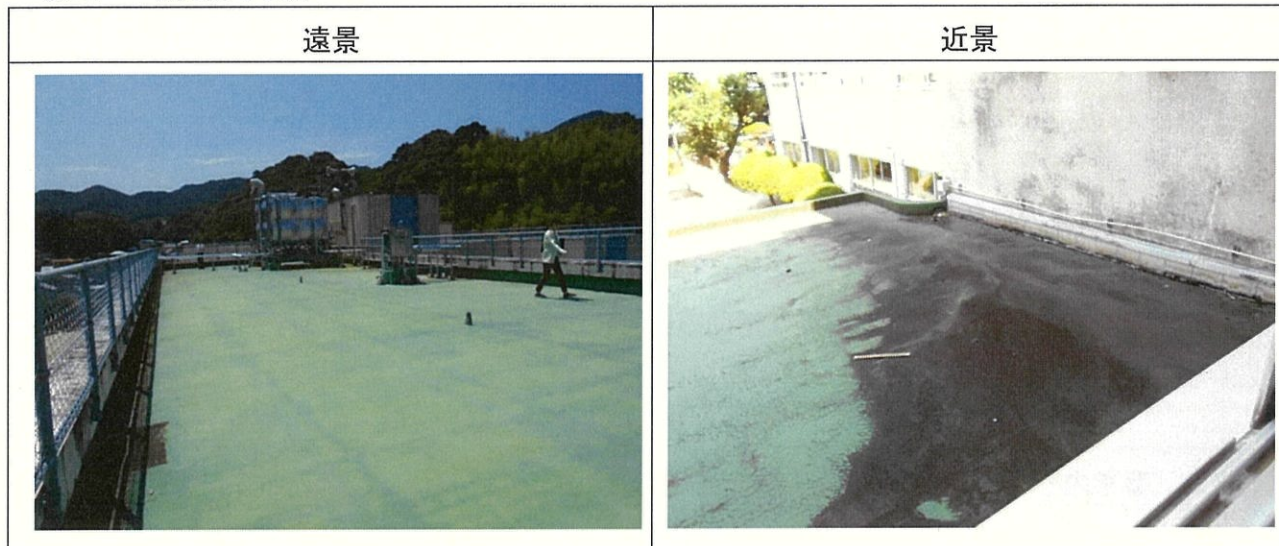
4 その他(現況写真等)

(1)北陽小学校校舎屋上防水改修工事

①建築年月:昭和45年3月(50年経過)

②現況:老朽化により屋上の防水層に破損等が見られる。

③工期:約4ヶ月



小島小校舎等改築に係るPFI導入可能性調査結果と本市の検討結果

1 PFI導入可能性調査に至る経緯

本市においては、「長崎市PPP手法の優先的検討方針」に基づき、「事業費の総額が10億円以上の公共施設等の整備事業」については、まずPFI手法の導入を検討することとしているため、平成29年11月議会において、PFI導入可能性調査に係る補正予算を計上し、平成30年度に同調査を実施したものである。

2 PFI導入可能性調査の結果

(1) 調査の目的

PFI方式で実施した場合と従来方式で実施した場合の経費を比較して算出されるVFMの状況と、本事業に対する民間事業者の参入意欲を調査する。

※VFM (Value For Money)

…支払い (Money) に対して最も価値の高いサービス (Value) を供給するという考え方のことであり、従来方式と比べてPFI方式のほうが総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合のこと

(2) 調査条件等

対象施設	小島小学校
敷地面積	6,666 m ²
施工条件	現在地でグラウンド等を活用し、仮設校舎を建設しながら校舎や屋内運動場など施設全体の建替えを想定
事業方式	BTO (Build Transfer Operate) 方式 ※PFI事業者が自ら資金調達を行い、施設を建設 (Build) した後、公共にその施設の所有権を移転した (Transfer) 上で、PFI事業者が一定の事業期間、その施設の維持管理・運営 (Operate) を行う。
事業期間	建設期間 + 維持管理期間 (15年)

(3) 調査の結果

ア VFM 5.13%

イ 参入意欲

民間事業者への意向調査(14社)において、PFI事業として小島小特有の施工条件を踏まえた事業範囲は、「適当である」と回答があったのは、2社のみ。

そのうち、建設企業(7社)の中では、「適当である」と回答があったのは、1社のみ。

意見内容について、小島小特有の施工条件にあたっては、リスクが高い、リスクは負担できない旨の指摘がなされている。

ウ 総合評価

本事業へのPFI導入は可能であるが、敷地に関する厳しい条件や制約等の技術的課題には、施工管理上のリスクを伴うことから、当該リスク相当の対価が事業コストとして算入されるため、これらについてはVFMの悪化要素として考慮しておくとともに、参加業者の参入意欲の阻害要因となる。

3 調査結果を受けて本市の検討結果

(1) VFMに対する経済性の検討

導入可能性調査によるVFMが5.13%の結果になっているが、昨今の経済情勢から、労務単価や資材単価の高騰などにより全国的にVFMが低調となっており、中にはVFMがマイナスになったため直接施工による事業手法を選択した都市もある等、今後、経済的なリスクを伴う水準である。

(参考) 他都市の状況

実施時期	VFM (平均)	参考
平成12年度～25年度	約20%	内閣府による調査
平成26年度～	約4%	聞き取りによる ※一部自治体でVFMマイナス
	※マイナス	

(2) 参入意欲からの検討

導入可能性調査結果から、施工条件が悪い案件では参入意欲が低調となり、参加者がいないということも危惧され、このことは結果として、小島小改築に向けた工事着手が遅れる可能性がある。

以上のことから総合的に判断した結果、本事業の推進については、PFI手法は導入せず直接施工による手法により実施することと結論づけたものである。

なお、今後の小中学校校舎等改築にあたっては、小島小学校と同様に、VFMは低調となることが想定されるため、当面の間は市の直接施工による手法で実施することとし、経済情勢の変化によりVFMの状況に改善が見込まれる場合などは、再度、PFI導入を検討する。

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
52~53	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-2	【単独】小学校整備事業費 小島小校舎等改築	千円 201,700

1 概 要

小島小学校は、最も古い校舎が昭和5年5月建築で既に88年が経過し、校舎の老朽化が進んでいることから改築を行うこととし、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

小島小学校へ車両等が進入できるよう取付道路（仮橋）の整備を実施し、解体予定の校舎一部にある普通教室等を既存校舎内の空き教室等へ移設するため、当該空き教室等の内部改修を行う。また、校舎敷地等を十分に確保できるよう隣接地（約580㎡）の用地取得を行う。

(1) 学校施設

ア 規模（令和元年5月1日現在）【長崎県学級編成基準】

児童数 279人 学級数 14クラス（特別支援3クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計）

（R1.5.1現在）

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
児童数	263人	266人	264人	276人	289人	298人	316人
学級数	11学級	11学級	11学級	11学級	11学級	12学級	13学級

※特別支援学級を除く（児童数・学級数）

(2) 事業費内訳

区 分	予算額（千円）	内 容
取付道路（仮橋）整備	24,000	国道側取付部の整備（前払金相当）
既存校舎内部改修	5,700	普通教室等の移転に伴う内部改修
用地買収	40,000	隣接地の用地買収
建物等補償費	132,000	隣接地の建物等補償
計	201,700	

3 スケジュール（予定を含む）

平成 28 年度	用地測量、建物調査、土地鑑定評価
平成 29 年度～平成 30 年度	用地買収・補償
平成 30 年度	取付道路（仮橋）測量設計
平成 31 年度 （補正予算分）	隣接地用地測量、建物調査、土地鑑定評価 取付道路（仮橋）整備、既存校舎内部改修、隣接地用地買収・補償
令和 7 年度	校舎棟・屋内運動場供用開始予定
令和 9 年度	運動場供用開始予定
令和 11 年度	取付道路（本橋）供用開始予定

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他	一般財源
千円 201,700	千円 -	千円 -	千円 177,000	千円 -	千円 24,700

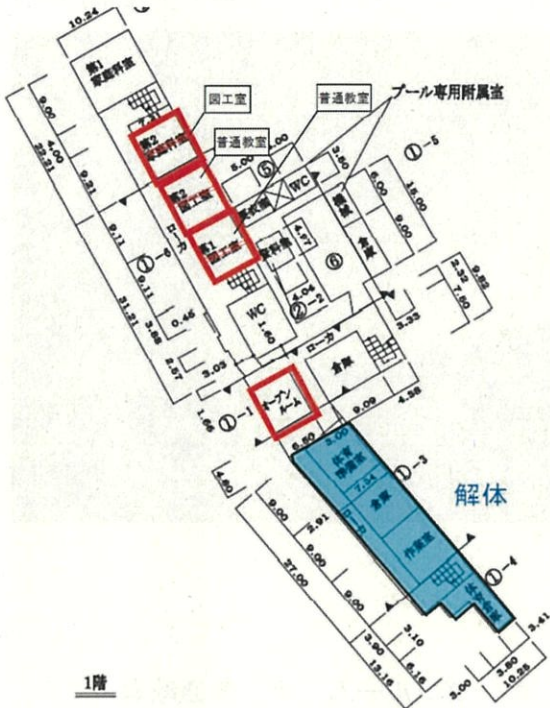
※1 学校教育施設等整備事業債（充当率：90%、75%）

5 取付道路（仮橋）イメージ図

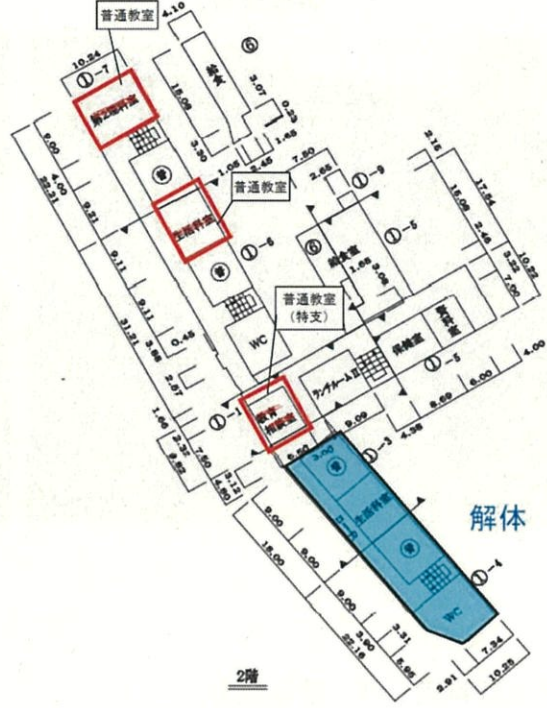


6 既存校舎の内部改修箇所

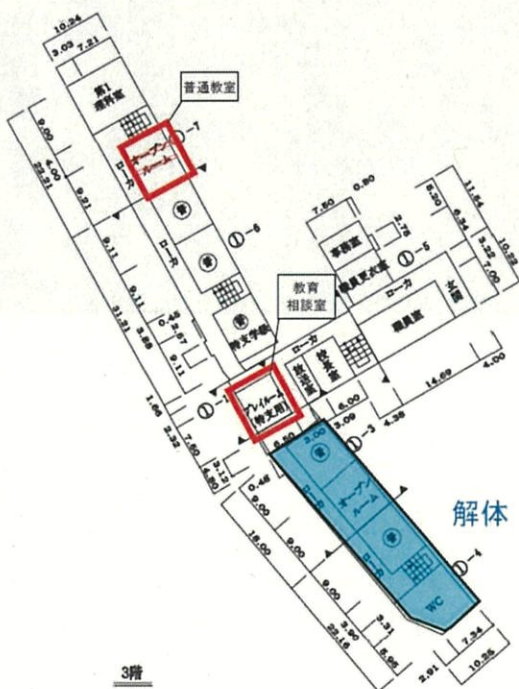
1 F 平面図



2 F 平面図



3 F 平面図

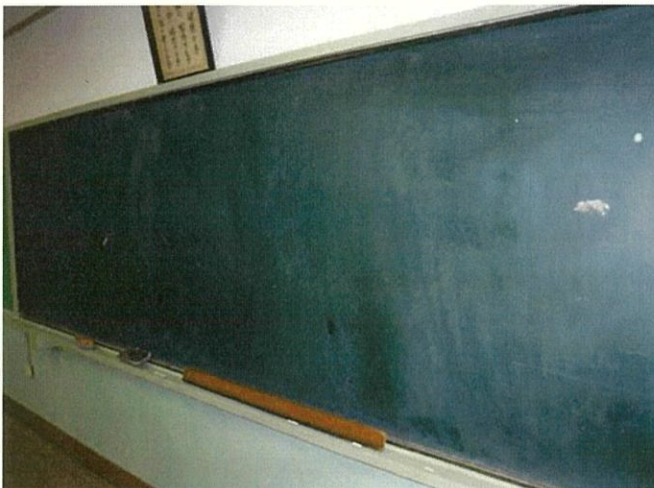


4 F 平面図



7 内部改修箇所の現況写真（主な状況）

- ・ 1 F 第2図工室 ⇒ 普通教室
（黒板張替）



- ・ 2 F 教育相談室 ⇒ 普通教室（特別支援）
（天井・壁修繕）



- ・ 2 F 第2理科室 ⇒ 普通教室
（黒板張替、壁修繕）



- ・ 3 F オープンルーム ⇒ 普通教室
（黒板張替）



継続費		期間	総事業費
第2表 ページ	事項	令和元年度 ～令和11年度	4,116,200千円
5	小学校整備事業 小島小校舎等改築		

1 概要

小島小学校は、最も古い校舎が昭和5年5月建築で既に88年が経過し、校舎の老朽化が進んでいることから改築を行うこととし、教育環境の改善を図る。

なお、同建設事業は、11か年度に及ぶ一連の長期事業であり、事業の全体像を示し、計画的かつ段階的な事業進捗を図るため、継続費を設定するもの。

※継続費とは・・・2会計年度以上にまたがる事業について、所要経費の総額を定めるとともに、継続期間に従って各年度の年割額を定め、予算として議決を経るもの。

2 継続費の内訳

単位：千円

事業年度	事業費	内 訳		
		工事費	その他	主な内容
令和元年度 (補正予算)	201,700	24,000	177,700	取付道路(仮橋)整備、内部改修 隣接地用地取得
令和2年度	206,000	129,400	76,600	基本実施設計、既存校舎一部解体
令和3年度	206,500	45,600	160,900	基本実施設計、既存校舎一部解体
令和4年度	226,800	128,120	98,680	仮設校舎建設、既存校舎解体
令和5年度	1,048,500	888,253	160,247	新校舎等建設
令和6年度	608,400	448,850	159,550	新校舎等建設
令和7年度	1,002,600	898,296	104,304	新校舎等建設、屋内運動場解体
令和8年度	58,300	58,239	61	運動場整備
令和9年度	155,400	155,364	36	運動場整備、取付道路(本橋)下部工
令和10年度	254,500	254,500	-	取付道路(本橋)下部・上部工
令和11年度	147,500	147,500	-	取付道路(本橋)上部工
総事業費	4,116,200	3,178,122	938,078	

※令和2年度～令和11年度については予定金額である。

(1) 工事内容

- ア 既存校舎・既存屋内運動場の解体工事 266,135 千円
- イ 校舎・屋内運動場・プール等の建設工事 2,175,806 千円
- ウ グラウンド等整備工事 106,906 千円

(2) 財源内訳

単位：千円

事業年度	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
令和元年度	201,700	-	-	177,000	-	24,700
令和2年度	206,000	-	-	153,600	-	52,400
令和3年度	206,500	-	-	154,000	-	52,500
令和4年度	226,800	43,092	-	146,200	-	37,508
令和5年度	1,048,500	146,084	-	719,700	-	182,716
令和6年度	608,400	79,523	-	417,200	-	111,677
令和7年度	1,002,600	158,935	-	668,100	-	175,565
令和8年度	58,300	7,464	-	39,500	-	11,336
令和9年度	155,400	3,636	-	113,700	-	38,064
令和10年度	254,500	-	-	190,700	-	63,800
令和11年度	147,500	-	-	110,600	-	36,900
合 計	4,116,200	438,734	-	2,890,300	-	787,166

※1 公立学校施設整備費国庫負担金（負担率：1/2）、学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率：90%、75%）

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
52~53	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-1	【単独】小学校整備事業費 西浦上小校舎等改築	千円 55,300

1 概 要

西浦上小学校は、最も古い校舎が建設から65年を経過していること、屋内運動場やプールについても老朽化が進んでいることから、全面的な建替えを行い、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

全面的な建替えに向け、屋内運動場、プールも含めた新校舎等の基本実施設計を行う。また、既存校舎外壁等の仕上塗材に石綿の含有が認められた場合は石綿飛散防止対策を講じた作業が必要となることから、事前に石綿含有の有無を調査する。

(1) 学校施設

ア 規模（令和元年5月1日現在） 【長崎県学級編成基準】

児童数 721人 学級数 26クラス（特別支援4クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計） ※平均入学率を加味

（R1.5.1現在）

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
児童数	702人	733人	697人	659人	641人	640人	608人
学級数	22学級	25学級	23学級	21学級	20学級	21学級	19学級

※特別支援学級を除く（児童数・学級数）

(2) 事業費内訳

区分	予算額（千円）	内 容
委託料	55,300	基本実施設計 52,800千円（前払金相当） 石綿含有調査 2,500千円
計	55,300	

3 スケジュール（予定）

令和元～2年度

令和6年度

令和8年度

基本実施設計、石綿含有調査

校舎棟・屋内運動場供用開始予定

運動場供用開始予定

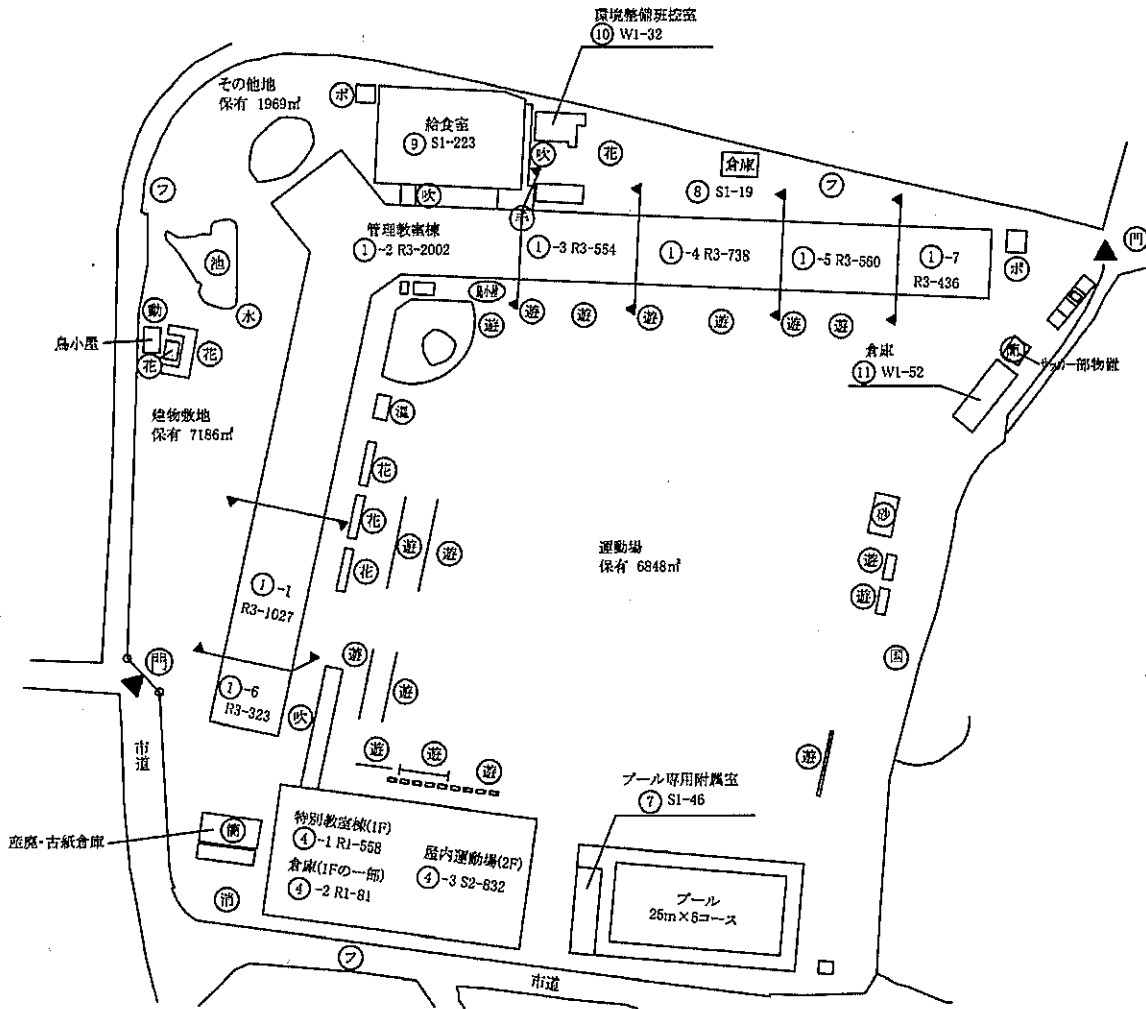
4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他	一般財源
千円 55,300	千円 -	千円 -	千円 39,600	千円 -	千円 15,700

※1 学校教育施設等整備事業債（充当率：75%）

5 西浦上小学校の施設配置及び概要

(令和元年5月1日現在)



施設の概要 (令和元年5月1日現在)

内 容	保有面積 (m ²)	建設年月日
校舎等	6,524	昭和29年3月建設 (最も古い校舎)
屋内運動場	913	昭和44年3月建設
プール	275	昭和50年6月建設
校地面積	16,003	
建物敷地	7,186	
運動場	6,848	
その他法面等	1,969	

※プールの面積は水面積による

6 西浦上小学校の現況写真



校舎



体育館

継続費		期間	総事業費
第2表 ページ	事項	令和元年度 ～令和8年度	4,712,300千円
5	小学校整備事業 西浦上小校舎等改築		

1 概要

西浦上小学校は、最も古い校舎が建設から65年を経過していること、屋内運動場やプールについても老朽化が進んでいることから、全面的な建替えを行い、教育環境の改善を図る。

なお、同建設事業は、8か年度に及ぶ一連の長期事業であり、事業の全体像を示し、計画的かつ段階的な事業進捗を図るため、継続費を設定するもの。

※継続費とは・・・2会計年度以上にまたがる事業について、所要経費の総額を定めるとともに、継続期間に従って各年度の年割額を定め、予算として議決を経るもの。

2 継続費の内訳

単位：千円

事業年度	事業費	内 訳		
		工事費	その他	主な内容
令和元年度 (補正予算)	55,300	-	55,300	基本実施設計、石綿含有調査
令和2年度	131,200	-	131,200	基本実施設計、運動場等設計
令和3年度	36,400	14,467	21,933	既存プール解体、仮設校舎建設
令和4年度	1,829,000	1,626,382	202,618	既存校舎解体、新校舎等建設
令和5年度	910,500	709,637	200,863	新校舎等建設
令和6年度	1,556,700	1,414,117	142,583	新校舎等建設
令和7年度	108,300	108,092	208	既存屋内運動場解体、運動場整備
令和8年度	84,900	84,831	69	運動場整備
総事業費	4,712,300	3,957,526	754,774	

※令和2年度～令和8年度については予定金額である。

(1) 工事内容

- ア 既存校舎・既存屋内運動場の解体工事 293,753千円
- イ 校舎・屋内運動場・プール等の建設工事 3,522,388千円
- ウ グラウンド等整備工事 141,385千円

(2) 財源内訳

単位：千円

事業年度	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
令和元年度	55,300	-	-	39,600	-	15,700
令和2年度	131,200	-	-	98,400	-	32,800
令和3年度	36,400	4,828	-	21,000	-	10,572
令和4年度	1,829,000	316,596	-	1,228,000	-	284,404
令和5年度	910,500	138,259	-	611,100	-	161,141
令和6年度	1,556,700	279,764	-	1,013,200	-	263,736
令和7年度	108,300	22,865	-	70,700	-	14,735
令和8年度	84,900	8,287	-	59,800	-	16,813
合 計	4,712,300	770,599	-	3,141,800	-	799,901

※1 公立学校施設整備費国庫負担金（負担率：1/2）、学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率：90%、75%）

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
54~55	10 教育費	3 中学校費	4 学校建設費	2-2	【単独】中学校整備事業費 諸工事	千円 6,300

1 概 要

伊王島小中学校において、平成31年4月からの小中併設に伴い、中学校2教室をアコーディオンカーテンで仕切って中学校1~3年及び特別支援教室の4教室分を確保し運用開始したが、隣の授業等が想定より大きく聞こえるため、スライディングウォールや間仕切り壁を設置し、遮音性を高めることにより教育環境の改善を図るもの。

2 事業内容

中学校2教室のうち、1教室は可動式のスライディングウォールを設置して広いスペース利用を可能とし、1教室は間仕切り壁を設置する。

なお、夏季休業期間中に施工し、本格的な受験シーズン前となる2学期からの使用開始を目指す。

3 事業費内訳

区 分	事業費	内 訳
工事請負費	6,300千円	伊王島小中学校スライディングウォール等設置工事 【内訳】 スライディングウォール設置 5,300千円 間仕切り壁設置 1,000千円

4 財源内訳

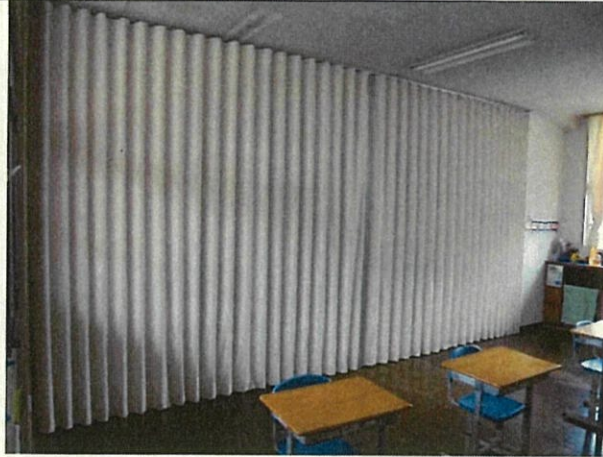
事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 6,300	千円 —	千円 —	千円 6,300	千円 —	千円 —

※ 過疎対策事業債（充当率：100%）

5 現況写真

施工イメージ

【施工前】アコーディオンカーテン①



【施工後】スライディングウォール



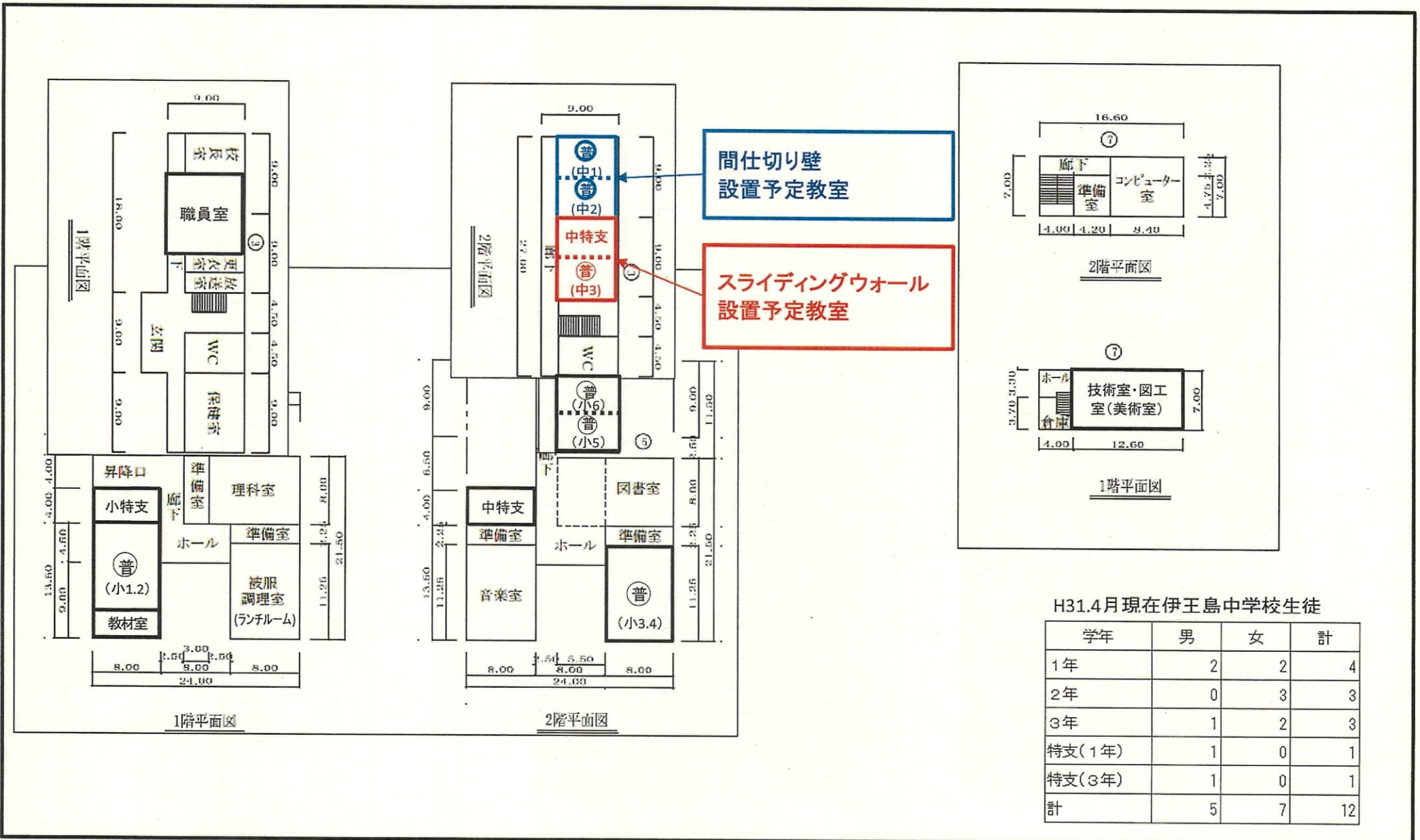
【施工前】アコーディオンカーテン②



【施工後】間仕切り壁



改修後平面図



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
56～57	10 教育費	6 社会教育費	8 図書館費	2-1	【単独】図書館施設整備事業費 香焼図書館	千円 47,400

1 概 要

香焼地域の生涯学習及び交流の拠点施設である現香焼図書館の建物は、施設・設備の老朽化が著しく、耐震化がなされていない等、施設上の問題があることから、耐震補強済である近隣の香焼地域センターへ移転して整備することで、地域住民の教育と文化の振興を図る。

なお、本事業は、平成29年5月30日付環境省通知及び平成30年3月14日付長崎県土木部建築課通知により、建築物の改修・解体時の石綿含有仕上塗材の除去等作業に係る手順や取り扱いが示され実施した、建築物の内外装仕上げに使用される建築用仕上塗材の石綿含有調査の完了に伴い、香焼図書館の整備を実施するもの。

2 事業内容

(1) 事業費 47,400千円

(2) 事業内容

ア 改修工事

47,095千円

- (ア) 内部主体改修 (壁・床・天井の改修、自動ドア、パイプシャッター設置など) 36,383千円
- (イ) 電気設備改修 (照明器具、防火設備用の感知器、コンセントの改修など) 8,743千円
- (ウ) 空調等設備改修 (ルームエアコンの移設、撤去など) 797千円
- (エ) その他 (図書館システム用のネットワーク整備) 1,172千円

イ 空調機等の処分業務委託

305千円

(3) 事業スケジュール

令和元年度 改修工事(令和2年3月1日開館予定)

(4) 施設内容

	香焼図書館(現在地)	香焼地域センター(移転先)
所在地	香焼町567番地	香焼町1070番地32
構造等	鉄筋コンクリート造3階 (旧耐震基準)	鉄骨鉄筋コンクリート造3階 (耐震補強済)
建築年月	昭和47年4月	昭和53年3月
築経過年数(平成31年4月現在)	47年	41年
延床面積(m ²)	644(1～3階)	2,603(1～3階)
うち図書館機能部分(m ²)※1	464(1～3階)	419(1階)※2

※1 図書館機能:書架・閲覧スペース、貸出カウンターや行事等で利用するための部分

※2 香焼地域センターでの図書館行事は、2階会議室を共用するために図書館機能部分の面積に含めず。

〔位置図〕



〔建物写真〕



香焼図書館 (現在地)

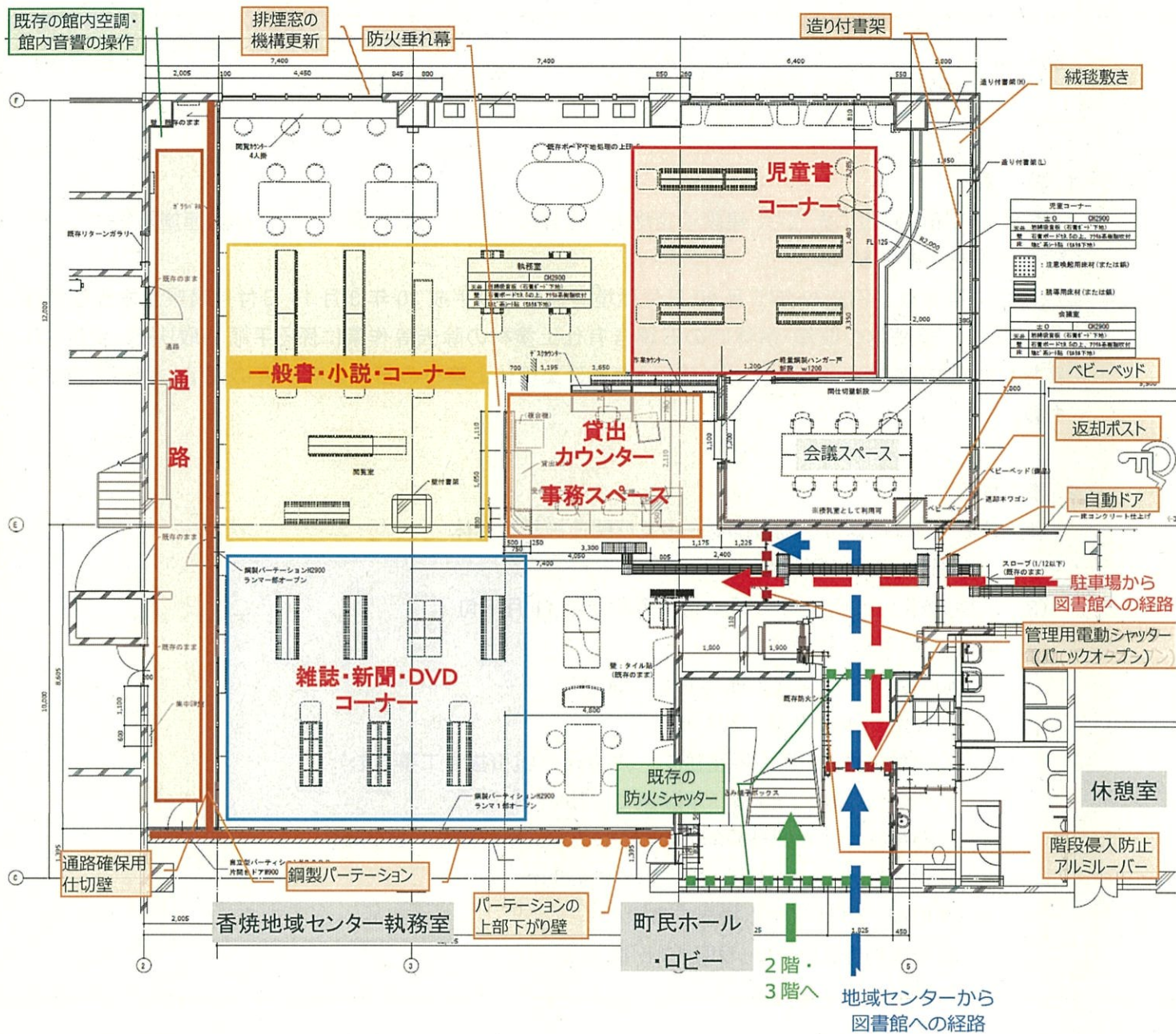


香焼地域センター (移転先)

〔完成イメージ〕



(5) 改修レイアウト(案)



3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫	県費	地方債 ^{※3}	その他	一般財源
千円 47,400	千円 —	千円 —	千円 45,000	千円 —	千円 2,400

※3 合併特例事業債 事業費の95%

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
56～57	10 教育費	6 社会教育費	10 恐竜 博物館費	1-1	【単独】恐竜博物館整備事業費 恐竜博物館建設	千円 28,700

1 概 要

恐竜博物館の建設に先立ち、建設予定地である野母崎総合運動公園プール及び関連施設等について、解体工事を実施するもの。

なお、本事業は、平成 29 年 5 月 30 日付環境省通知及び平成 30 年 3 月 14 日付長崎県土木部建築課通知により、建築物の改修・解体時の石綿含有仕上塗材の除去等作業に係る手順や取り扱いが示され実施した、建築物の内外装仕上げに使用される建築用仕上塗材の石綿含有調査の完了に伴い実施するもの。

2 事業内容

- (1) 件名 野母崎総合運動公園プール及び関連施設等解体
- (2) 工事場所 長崎市野母町 568-1
- (3) 工期(予定) 令和元年 8 月下旬～令和元年 11 月下旬
- (4) 解体工事(構造・規模等)
 - ① 50mプール：パネル式プール 8レーン 850 m²
 - ② 幼児用プール：RC造 208 m²
 - ③ プール付属棟：S造 平屋建て 98.0 m² (杭引抜き工事含む)
 - ④ ハランソングタンク棟：RC造 平屋建て 15.0 m²
 - ⑤ ろ過装置棟：コンクリートブロック(一部木造) 平屋建て 26.5 m²
 - ⑥ 浄化槽ブロック棟：RC造 平屋建て 4.0 m²
 - ⑦ 浄化槽：RC造 (杭引抜き工事含む)
 - ⑧ 隣接建物境界際ブロック塀 8.7 m²撤去
 - ⑨ 外構部花壇 1 基撤去
 - ⑩ 外灯 1 灯撤去



3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
当初予算	千円 560,500	千円 -	千円 -	千円 560,500	千円 -	千円 -
補正額	千円 28,700	千円 -	千円 -	千円 28,700	千円 -	千円 -
補正後の額	千円 589,200	千円 -	千円 -	千円 589,200	千円 -	千円 -

※過疎対策事業債（充当率:100%）

4 恐竜博物館建設スケジュール（予定）

項目	平成30年度				令和元年度 (2019年)				令和2年度 (2020年)				令和3年度 (2021年)				
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	
標本収集	■								■								令和3年10月開館予定
建築設計・建築工事					■ 建築基本・実施設計				■ 建築工事								
展示設計・展示施工					■ 展示基本・実施設計				■ 展示施工								
研究機器購入									■								

継 続 費		期 間	補正額
第2表 ページ	事 項		
6	恐竜博物館整備事業 恐竜博物館建設	平成30年度 ～令和3年度	千円 28,700

1 概 要

恐竜博物館建設事業は、4か年度（平成30～令和3年度）の継続費を設定しており、令和元年度には、博物館建設予定地である野母崎総合運動公園プール及び関連施設等の解体工事を計画していることから、継続費の補正を行うもの。

※継続費とは…2会計年度以上にまたがる事業について、所要経費の総額を定めるとともに継続期間に従って各年度の年割額を定め、予算として議決を経るもの。

2 継続費の内訳

単位：千円

事業年度	事業費① (補正前)	事業費② (補正後)	増 減 (②－①)
平成30年度	133,740	133,740	—
令和元年度	560,500	589,200	28,700
令和2年度	858,300	858,300	—
令和3年度	216,400	216,400	—
総事業費	1,768,940	1,797,640	28,700

3 事業費増の内容

プール及び関連施設等解体費の増 28,700千円

4 財源内訳

単位：千円

区分	事業年度	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
補正前の額	平成30年度	133,740	—	—	132,800	—	940
	令和元年度	560,500	—	—	560,500	—	—
	令和2年度	858,300	—	—	858,300	—	—
	令和3年度	216,400	—	—	194,700	—	21,700
合 計		1,768,940	—	—	1,746,300	—	22,640
補正額	平成30年度	—	—	—	—	—	—
	令和元年度	28,700	—	—	28,700	—	—
	令和2年度	—	—	—	—	—	—
	令和3年度	—	—	—	—	—	—
合 計		28,700	—	—	28,700	—	—
補正後の額	平成30年度	133,740	—	—	132,800	—	940
	令和元年度	589,200	—	—	589,200	—	—
	令和2年度	858,300	—	—	858,300	—	—
	令和3年度	216,400	—	—	194,700	—	21,700
合 計		1,797,640	—	—	1,775,000	—	22,640

※ 平成30年度～令和2年度 過疎対策事業債（充当率：100%）

※ 令和3年度 地域活性化事業債（充当率：90%）

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
58～59	10 教育費	8 市民会館費	1 市民会館 総務費	1-1	【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館施設整備	千円 82,200

1 概 要

和式便器が多く、老朽化した1階文化ホールと4階競技場観覧者席トイレを改修し、洋式便器の数を増やし、利用者の利便性向上を図る。

2 事業内容

(1) 1階文化ホールトイレ改修工事 59,700千円

ア 工事概要及び補正理由

1階文化ホールトイレについては、洋式便器の数が少なく、利用者から洋式便器増設の要望がっており、利便性向上のためトイレ改修工事の検討をしていたが、4ヶ月以上文化ホールを閉館しなければならず、利用者の活動に支障をきたすため改修を見送った経緯があった。

しかしながら、トイレの老朽化が進み、利用者にも不便をお掛けする状況が続いているため、催事に極力影響がない日程や工法を検討し、文化ホールを開館したままでの改修工事の実施が可能となったため。

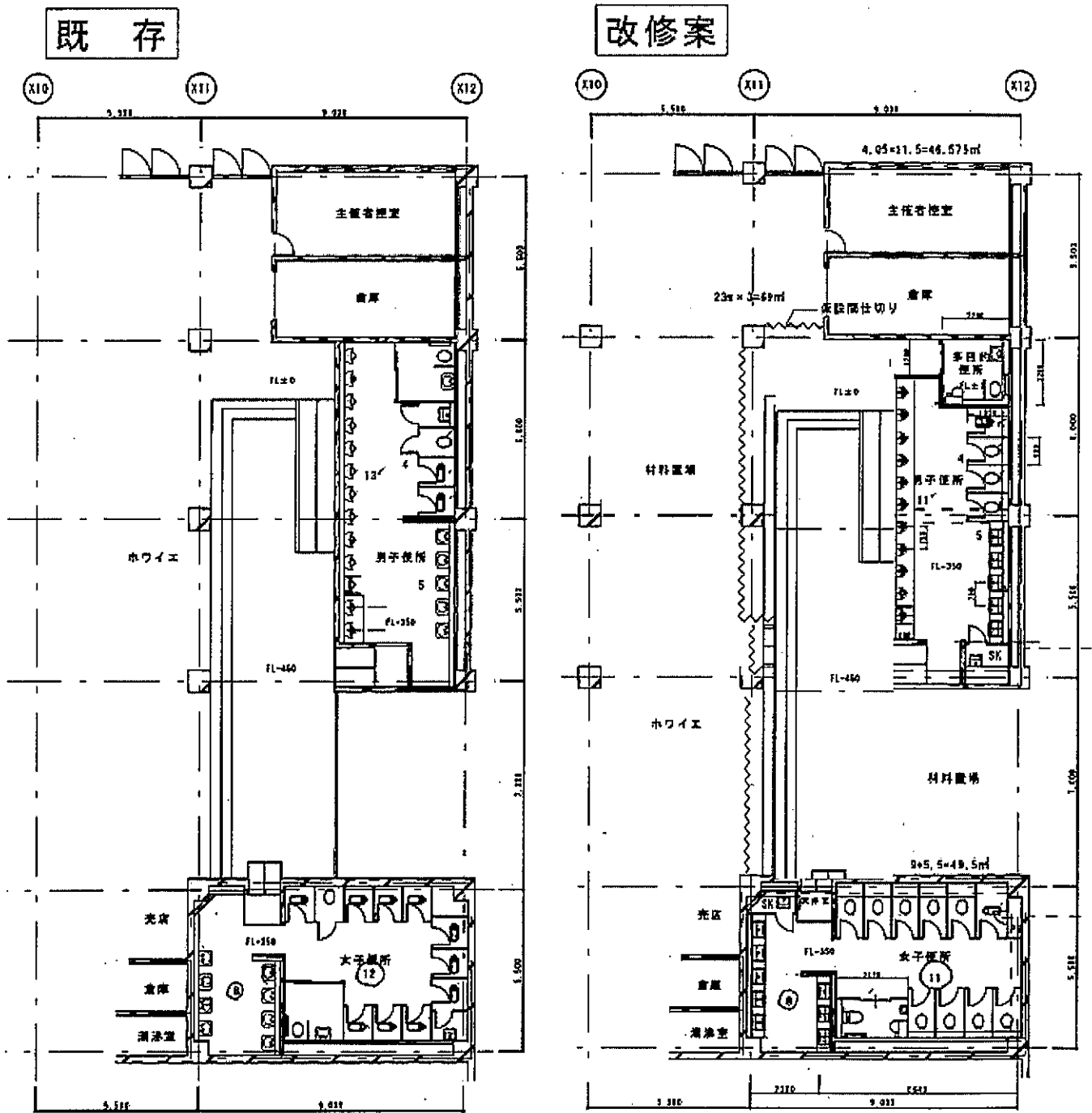
イ 工事内容

床、壁、天井、トイレブース、電気設備、衛生器具設備等の改修(改修面積110㎡)

昭和48年の建設当初から大規模な改修を行っておらず、長崎市公共施設保全計画においては、今後約20年間継続して利用する施設であるため、便器の洋式化のみならず、老朽化したトイレの床、壁等も全面改修を行うもの。

衛生器具比較	設備	既存	改修案	増減	備考
男子トイレ	大便器(洋式)	1	3	2	
	大便器(和式)	2	1	▲1	
	小便器	13	11	▲2	独立式多目的トイレスペース確保のため、数量減
	小計	16	15	▲1	
女子トイレ	大便器(洋式)	1	9	8	
	大便器(和式)	10	1	▲9	
	小計	11	10	▲1	
多目的トイレ	オストメイト(新設) ベビーシート(新設)	2 (男女別)	1(共用) 1(女子)	—	既存の男子トイレ内の多目的トイレブースを独立させ、男女共有に改修し利便性を図る。利用頻度が高い女子トイレの多目的トイレは、改修し残す。
	合計	29	27	▲2	

(改修工事案)



ウ 工事スケジュール

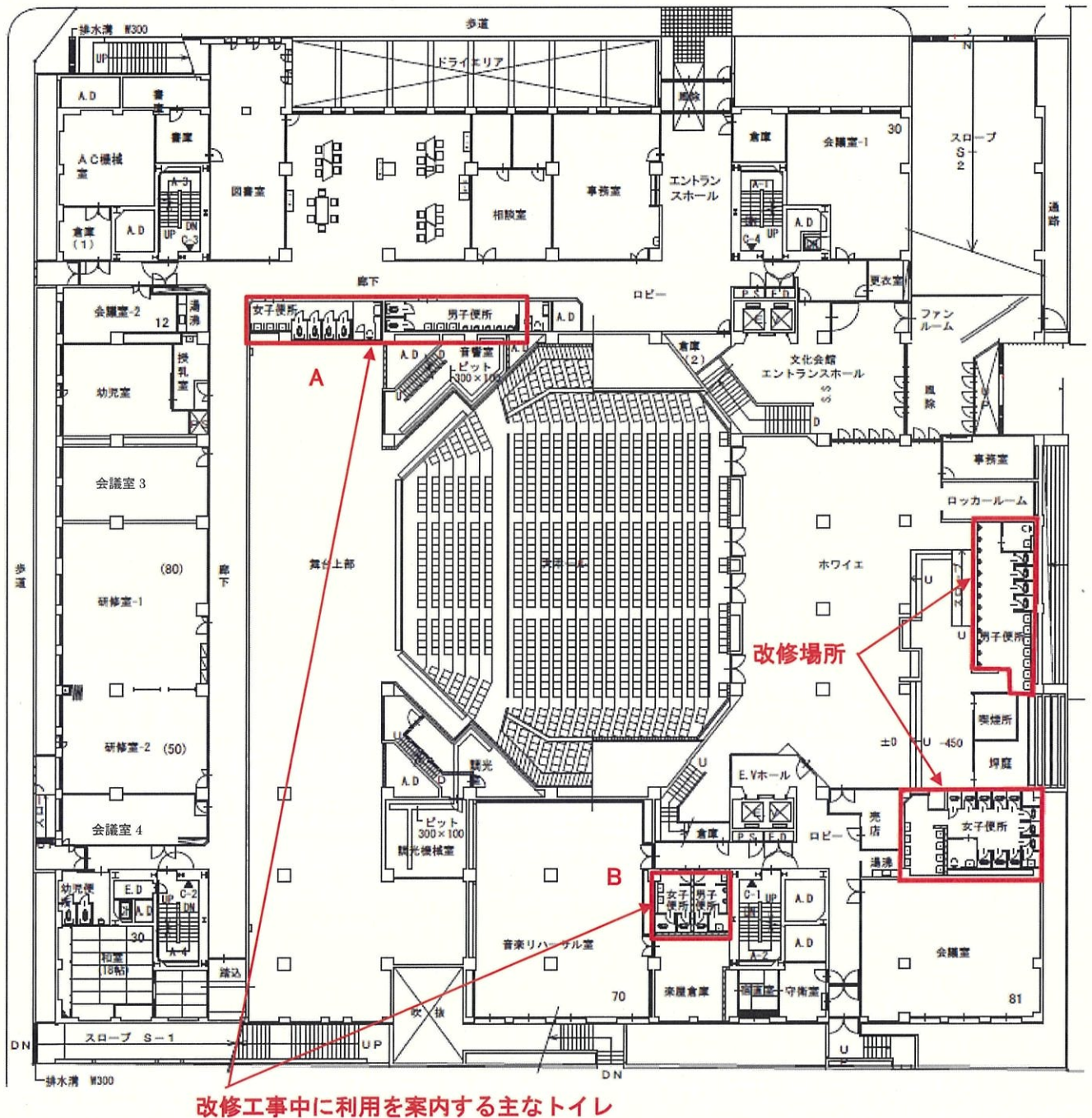
2019年						2020年		
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
6月補正				改修工事 (5ヶ月)				

エ 工事期間中の影響と対応

文化ホールのトイレ改修工事期間中は、主に男女共同参画推進センターアマランスなどのトイレを案内する。

工事は、基本的には日中作業とし、解体作業等の振動、騒音が発生するものについては、文化ホールの催事に影響が少ない平日を中心に作業を行う。

オ 改修工事位置図



カ 工事期間中案内トイレ

	設備	文化ホール	1階 アマラン ス内(A)	1階 売店奥 (B)	地下 1階	2階	案内 トイレ 合計
男子トイレ	大便器(洋式)	1	2	1	1	2	6
	大便器(和式)	2	0	0	2	3	5
	小便器	13	3	3	5	7	18
	小計	16	5	4	8	12	29
女子トイレ	大便器(洋式)	1	3	2	1	6	12
	大便器(和式)	10	2	0	3	2	7
	小計	11	5	2	4	8	19
多目的トイレ		2 (男女別)	1(女子)			1(共用)	2
	合計	29	11	6	12	21	50

(2) 4階競技場観覧者席トイレ改修工事 22,500千円

ア 工事概要及び補正理由

配管の老朽化や、洋式便器の数が少ないことから、利用者の利便性向上のため改修を行う。

競技場観覧者席トイレは大会など多くの観覧者が想定される場合にのみ使用することから、2ヶ所あるトイレのうち、更衣室の上階側(東側トイレ)のみを改修する。

なお、本事業は、平成29年5月30日付環境省通知及び平成30年3月14日付長崎県土木部建築課通知により、建築物の改修・解体時の石綿含有仕上塗材の除去等作業に係る手順や取り扱いが示され実施した、建築物の内外装仕上げに使用される建築用仕上塗材の石綿含有調査の完了に伴い改修工事を施工するもの。

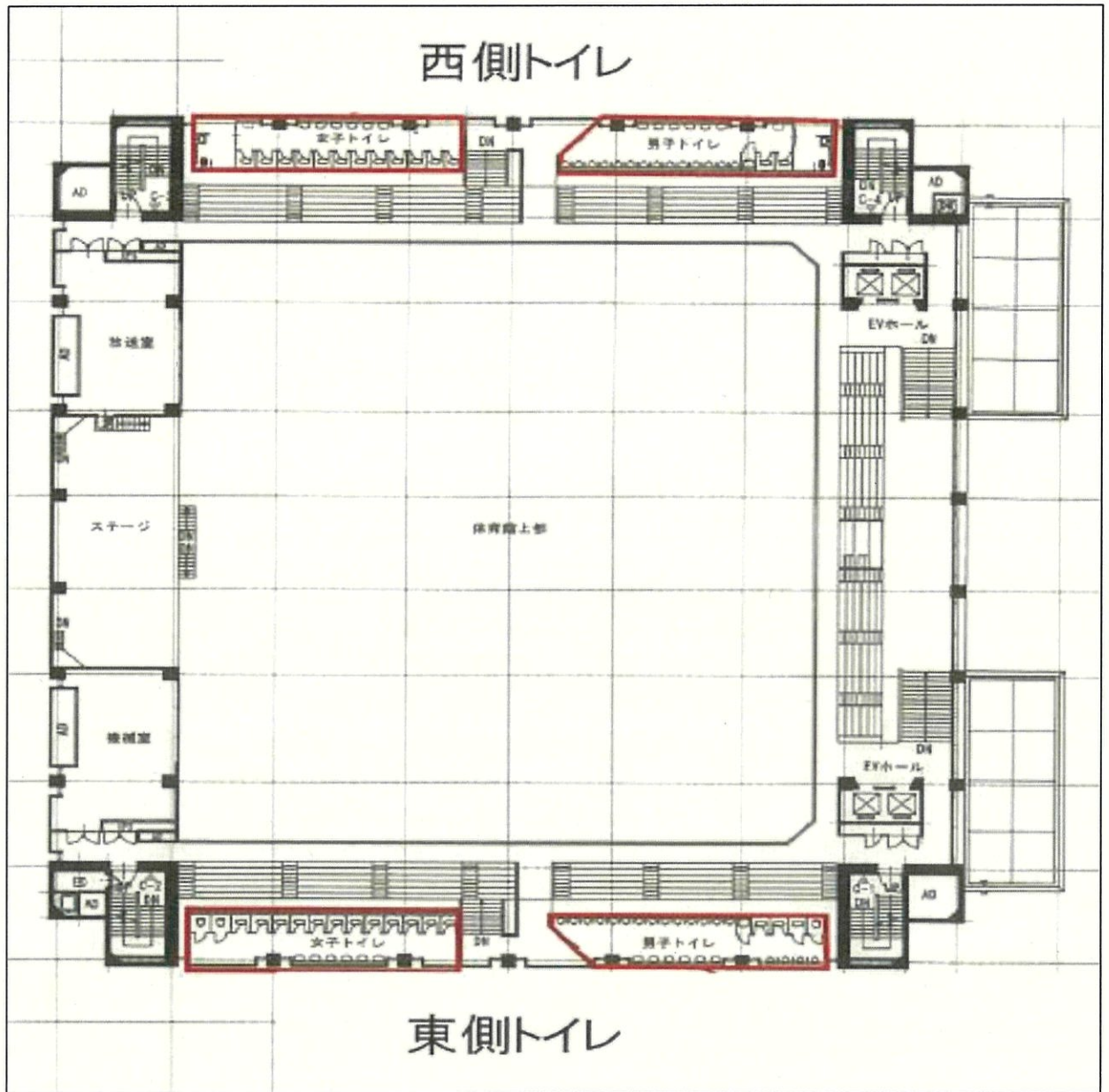
イ 工事内容

東側トイレ・・・床、壁、天井、トイレブース、衛生器具設備等の改修(改修面積77㎡)

衛生器具比較	設備	既存	改修案	増減	備考
男子トイレ	大便器(洋式)	2	2	—	
	大便器(和式)	2	1	▲1	
	小便器	14	9	▲5	多目的トイレ新設スペース確保のため、数量減
	多目的(洋式)	—	1	1	ベビーキープ設置
	小計	18	13	▲5	
女子トイレ	大便器(洋式)	3	8	5	
	大便器(和式)	11	2	▲9	
	多目的(洋式)	—	1	1	ベビーキープ設置
	小計	14	11	▲3	
	合計		32	24	▲8

西側トイレ・・・女子トイレの破損した便器(1か所)の改修(配管工事含む)

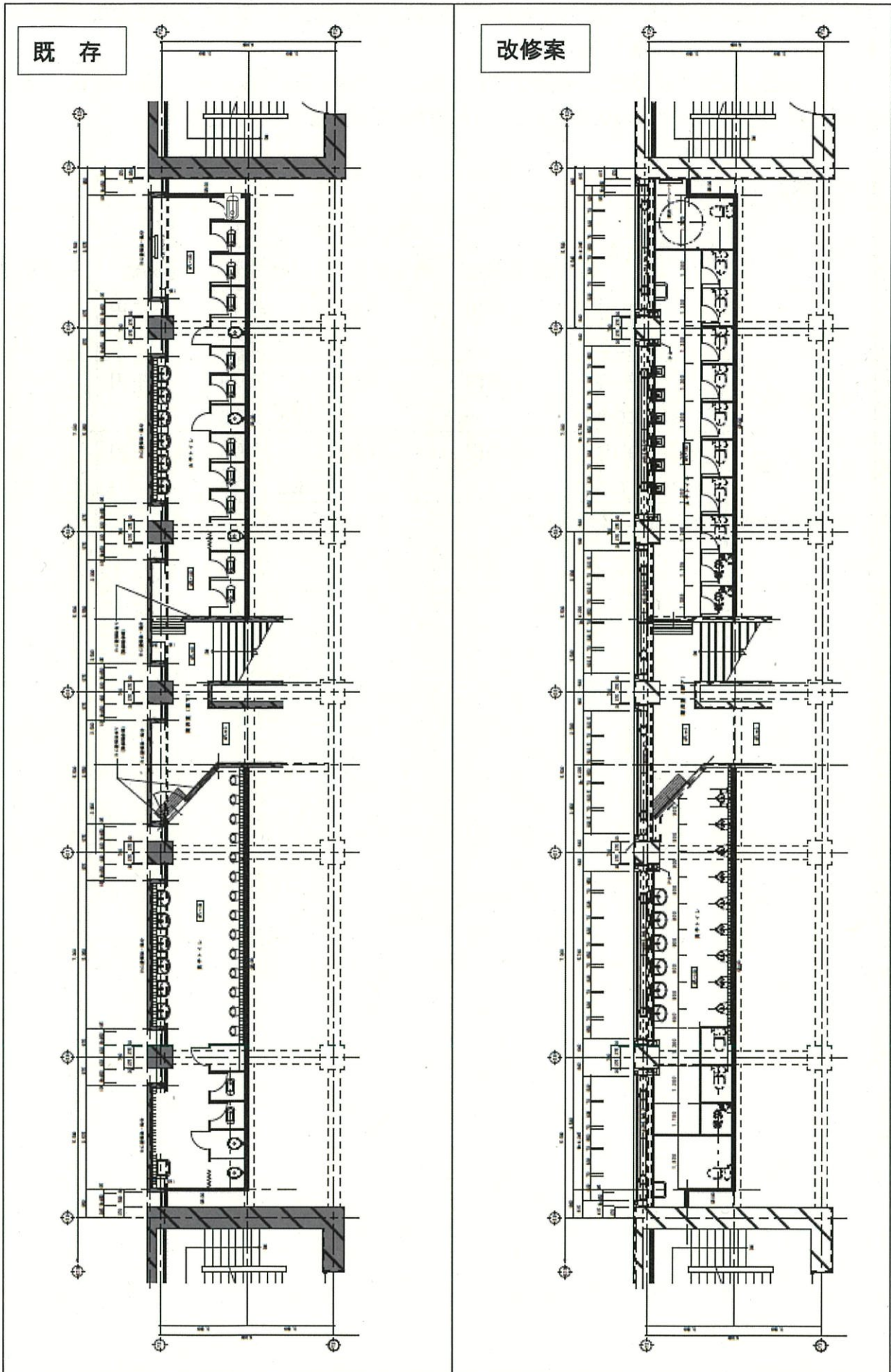
(改修工事位置図)



ウ 工事スケジュール

2019年							2020年	
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
6月補正				改修工事 (3.5ヶ月)				

(改修工事案)



エ 工事期間中の影響と対応

基本的には日中作業とし、西側トイレを利用できることから、大会など利用に支障をきたす催事以外は、体育館を利用しながら作業を行う。

また、便器の改修工事の際は、配管工事により階下にある、更衣室、シャワー室、トイレ、器具庫等が使用できなくなるため、6階の更衣室やシャワー室等を案内するなど調整を行う。

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	※地方債	その他	一般財源
当初予算	千円 7,500	千円 -	千円 -	千円 7,100	千円	千円 400
補正額	千円 82,200	千円 -	千円 -	千円 78,000	千円 -	千円 4,200
補正後の額	千円 89,700	千円 -	千円 -	千円 85,100	千円 -	千円 4,600

※合併特例事業債 充当率 95%

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
58～59	10 教育費	8 市民会館費	1 市民会館 総務費	1-2	【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館設備整備	千円 8,600

1 概 要

市民のスポーツ活動の普及振興を図り、スポーツに親しむ機会を提供するため、老朽化し使用に支障をきたしている市民体育館の移動式バスケットゴールを更新する。

2 事業内容

移動式バスケットゴール購入 2台(1対) 8,600千円

購入から26年が経過し、1台のアーム部において劣化による不具合が生じたため、製造元による応急処置を行ったものの、耐用年数の20年を超過しており、部品交換による修理ができない。長崎市内のバスケットボール大会を実施するために、市民体育館は必要な会場であり、今後もスポーツ振興の場の安全な提供を行うために、新たに購入するもの。



3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	※地方債	その他	一般財源
当初予算	千円 116,000	千円 -	千円 -	千円 110,200	千円 -	千円 5,800
補正額	千円 8,600	千円 -	千円 -	千円 8,100	千円 -	千円 500
補正後の額	千円 124,600	千円 -	千円 -	千円 118,300	千円 -	千円 6,300

※合併特例事業債 充当率 95%